

目標達成計画

事業所名 シンシアリイ

作成日: 3 年 9 月 3 / 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	1	・理念の共有と実践 スタッフの入職時だけでなく、定期的な 方向性の確認作業が必要である	困難な場面になった場合、 理念に立ち返って、行動に拘る事が 求められている。	個人面談の際に、理念に基づいた 指導や評価を実施して、一人ひとりの 考えや想いを同じ方向性へ導く	3ヶ月
2	11	・運営に関する職員意見の反映 人員体制と利用者の介護量の バランスが取れていない	スタッフの技術や知識と、利用者様 の身体状況や介護度で偏らない サービスを展開したい	お問い合わせ状況の内容を見て、介護の 高い利用者様のケースが増えているので、希望に沿った サービスの実現の為に、知識や技術の向上を 目指したい	6ヶ月
3	33	・重度化や終末期に向けた方針の共有と 実践 終末期の対応について、スタッフの知識・経験も 加味しながら、取り組まなければならない	看取り介護の実施に向けた、スタッフ体制の構築を 図り、事業所内研修を通じて、浸透を させていく	外部研修を確保し、体系的な研修スケジュールを 作成して、事業所としての看取りケアの取り組みや 指針を示していく	3ヶ月
4	52	・居心地の良い共用空間づくり 相手のスタッフによって個人差が出ないように、 スタッフ全体の取り組みとして実施したい	四季を中心とした雰囲気や生活感を 利用者様と一緒に作り出せるようにしたい としています。	毎月の行事を中心とした装飾によって、事業所 内の空気感を演出しています。また、日常生活の 中でも、ソファの位置等を変えて配置しています。	3ヶ月
5	13	・職員を育む取り組み 業務に関する同行勤務等は実施出来て いるが、知識の向上等に何らかの研修の実施が 出来ていない	外部研修や事業所内研修を通じて スタッフのスキルアップだけでなく、各介護分野 における指針の確認を行うことが出来る。	外部研修の内容によって、参加を促して 事業所に持ち帰り事業所内研修の設定まで 行っている。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。